

明治三十三年五月九日

③

特旨ヲ以テ華族ニ
被列

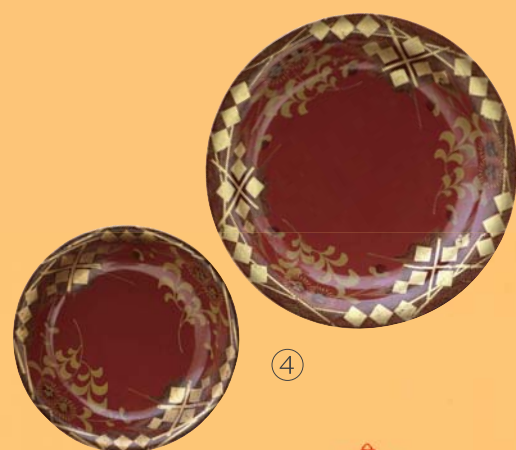
從役勲等毛利重輔

郷土史料の新・再発見

吉敷毛利家の軌跡

山口市歴史民俗資料館
宋邑於防州吉敷郡吉敷村勝井村黒川村
長刈美禰郡長田村厚狭郡木戸刈屋村豊浦郡
井村領七千石之地移居於吉敷村然父入道柳
猶在於殿井村

①



④

⑤



②

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)

展示替 (11月8日(水) ~ 11月15日(水))

観覧料 一般 110円 (20人以上団体割引)

※18歳以下の方、70歳以上の方、障がいがある方とその付添いの方は無料

2023年

10月7日(土)

~12月17日(日)

企画展関連イベント

①ミニ講座「史料の新発見、そして郷土の再発見」

11月5日(日) 13:30~15:00 (参加費無料・応募先着20名)

このたび発見された「吉敷毛利家資料」および関係史料について、その内容を紹介し、改めて吉敷の歴史と文化を考えます。

場所: 山口市歴史民俗資料館 2階学習室

申込: 電話またはメールにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をお知らせください。

講師: 担当学芸員

②ミニ講座「「吉敷毛利家資料」からわかること」

12月3日(日) 13:30~15:00 (参加費無料・応募先着20名)

「吉敷毛利家資料」の調査成果報告として、いくつかのテーマを設定して、そのみどころを紹介します。

場所: 山口市歴史民俗資料館 2階学習室

申込: 電話またはメールにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をお知らせください。

講師: 担当学芸員

③展示解説

10月15日(日)・11月19日(日)

各日 13:30~ (30分程度) (要観覧料・申込不要)

①家系譜録 毛利重輔(部分)(山口市歴史民俗資料館所蔵) ②黒塗桐紋巴紋散櫃(玄濟寺所蔵)

③辞令(玄濟寺所蔵) ④大内塗皿(玄濟寺所蔵)

⑤吉敷毛利家旧東京邸新築図面(部分)(山口市歴史民俗資料館所蔵)



山口市歴史民俗資料館

[住所] 〒753-0073 山口県山口市春日町5番1号

[TEL / FAX] 083-924-7001

[メール] yrekimin@c-able.ne.jp

[アクセス] 新山口駅より

JR 山口線 山口駅下車徒歩 25 分

バス 山口県庁前下車徒歩 5 分

中国自動車道

小郡 IC より 20 分

山口 IC より 15 分

湯田スマート IC より 15 分

[URL] <https://yrekimin.jp/>





▲七代
たかまさ
毛利就將

▲六代
もとなお
毛利元直

▲五代
ひろかね
毛利広包

▲四代
なりなお
毛利就直

▲三代
もとかね
毛利元包

▲二代
もとしげ
毛利元鎮



▲十三代・十五代
もときよ もとかず
毛利元潔(元一)

▲十二代
ふさかね
毛利房謙

▲十一代
ふさみち
毛利房裕

▲十代
かねのり
毛利包詮

▲九代
ふさなお
毛利房直

▲八代
なりかね
たかかね
毛利就兼



▲十六代
じゅうすけ
毛利重輔

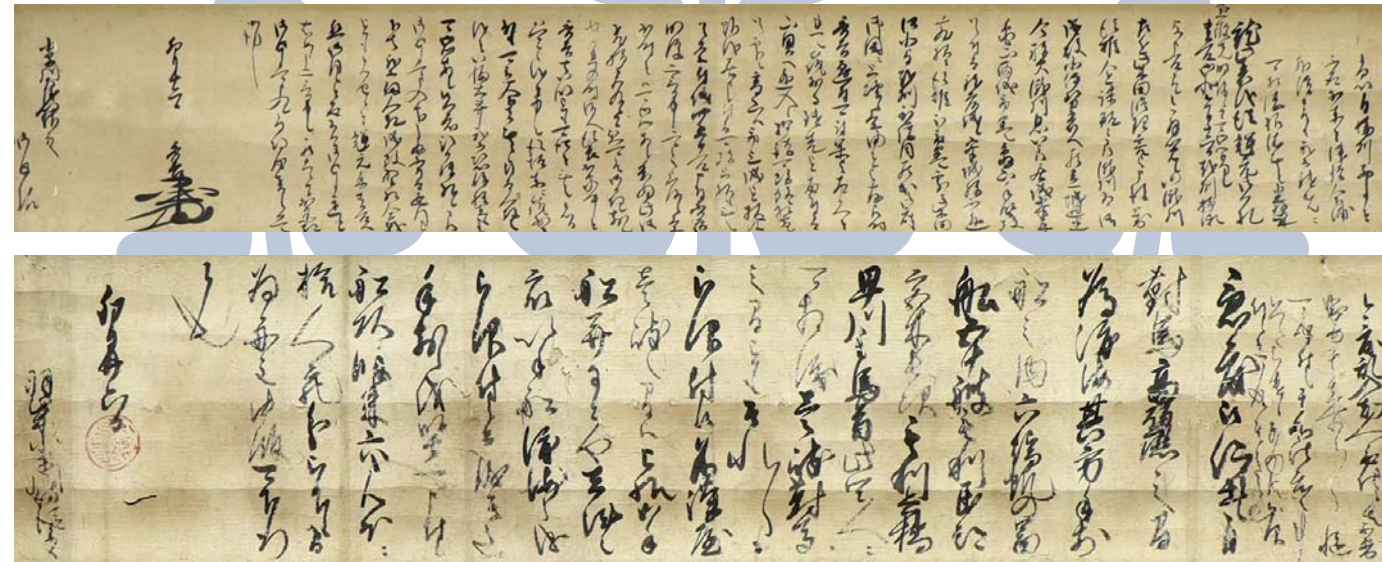
歴代肖像画は全て玄濟寺所蔵

▲初代
ひでかね
毛利秀包

よしき
吉敷毛利家は、毛利元就の九男・毛利秀包を祖とする毛利家一門のひとつです。二代・毛利元鎮の時に吉敷の地が与えられ、三代・毛利元包の時に豊浦郡殿居村から吉敷に移り、以降、吉敷を本拠地としたことから、この一族のことを吉敷毛利家と呼ぶようになります。

このたび、吉敷毛利家から菩提寺である黄龍山玄濟寺にゆかりの品々が寄贈されました。それにともない、山口市歴史民俗資料館ではその内容を把握するために史料調査を実施しました。本展では、吉敷毛利家ゆかりの品々の発見と山口に里帰りしたことを記念し、新・再発見された吉敷毛利家の歴史を紹介します。

豊臣秀吉関係文書四通の発見！



▲掛軸(一幅)に四通の秀吉関係文書が装幀されている。このうち、秀吉書状は小早川隆景宛となっており、本来は小早川家に伝わるべきものであるが、秀包が隆景の養子となったことから、吉敷毛利家に文書が伝わった。
上：豊臣秀吉書状・下：豊臣秀吉朱印状
(「吉敷毛利家資料」 山口市歴史民俗資料館所蔵)

毛利敬親から拝領の龍虎



▲箱書きによって、毛利敬親から毛利元潔(元一)に与えられたことがわかる。
狩野安信筆「龍虎図」
(「吉敷毛利家資料」 玄濟寺所蔵)

吉敷毛利家の家紋



▲吉敷毛利家の家紋である桐紋と巴紋が散らされた黒塗の文箱。黒塗桐紋巴紋散文箱
(「吉敷毛利家資料」 玄濟寺所蔵)